



みどりの子 明るく やさしく 根気よく

緑が丘だより

令和6年度 第8号 (12月)

宇都宮市立緑が丘小学校 皆川 美弥子

回 覧



大盛況！ みどり祭



12月7日(土)、昨年度に引き続きPTA実行委員会の企画・運営による「みどり祭」を行いました。今回準備していただいたアトラクションは、「逃走中」「田の字ドッジビー」「みどりっ子チャレンジ」の3種類です。子供たちは低・中・高学年のブロックごとに各アトラクションを回り、友達と一緒に充実した時間を過ごすことができました。

限られた時間と空間で、全校児童を対象に、どの学年の子供たちも楽しめるような内容を考えるのは、容易なことではなかったかと思います。「子供たちのために！」と、何か月も前から準備を進めてくださった委員の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。また、中学生40名も含めた、当日ボランティアの方々も本当にありがとうございました。



◆アトラクション1 逃走中

大勢のハンターから逃れるために校庭を走り回る子供たち。でも、次々につかまって「牢屋」に入られてしまいます。「牢屋」では、一定の時間ごとに中学生のお姉さんとじゃんけんをして、勝ったら脱出できます。途中にはミッションも発動され、ハンターと綱引きをしたりハンターからカラフルテープを奪ったり。楽しい仕掛けが盛りだくさんの逃走中でした。



◆アトラクション2 田の字ドッジビー

体育館いっぱいに作った「田の字」のコートで、4チーム対抗のゲームをしました。ドッジビーのほかにドッジボールも使って勝負。ゲームの終盤では柔らかいハンドボールもたくさん投入され、全員がボールに触れることができるように工夫されていました。



◆アトラクション3 みどりっ子チャレンジ

南校舎に設置された5つの謎を解いて、「成功認定証」をゲットするゲームです。各クラスとも4～5人のグループで巡っていきます。校舎のいろいろな場所に謎が用意されていて、「ここにもあった!」と見つけるだけでも歓声が上がったり、協力して謎を解くことができたときには、「やった～!」と飛び上がったりする姿も見られ、こちらも大盛況でした。

謎は、低・中・高学年の発達段階に合わせて作られており、どの学年も熱中して取り組んでいました。



感謝の会

「みどり祭」と同日には、児童会主催の「感謝の会」も行われました。日頃から様々な場面でお世話になっているボランティアの方々をお招きして、感謝の気持ちをお伝えする会です。児童代表より感謝の言葉を伝えたり、プレゼントをお贈りしたり、「ありがとうの歌」を全校生で歌ったりしました。プレゼントの中身は、学年で分担し、心をこめて作ったお手紙と折り紙です。ボランティアの方々からは、「心温まる会をありがとうございました。係担当の子たちの礼儀正しさにも感激しました。」とのお言葉をいただきました。子供たちにとっては「感謝の心を形にして表現する」ということを学ぶ機会となりました。



環境部の皆様

ありがとうございました!

「みどり祭」の終了後に、PTA 環境部の皆様が、校舎内すべてのトイレの掃除をしてくださいました。

日々の児童の掃除ではなかなか手の届かないところもきれいにしてくださり、とても助かりました。



芸術鑑賞会

～倉沢大樹さんエレクトーンコンサート～

すばらしい演奏を聴いて沸き起こる拍手、曲に合わせて自然に体が動いたり、手拍子でリズムをとったりする“ノリ”のよさ、明るい歌声、笑顔…など、本校の子供たちの感性の豊かさを感じた鑑賞会でした。倉沢さんからも、音楽に親しむセンスや態度がすばらしいと褒めていただきました。



【緑が丘小ホームページ】多くのアクセスをいただいています。
学校だよりでご紹介している話題も、複数の写真とともにアップしています。

